

令和5年度指定管理者制度事業評価実施結果一覧

施設名	評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
	基礎的業務	利用者サービス	収支状況	総合評価		
1 さわらびの湯	S	S	A	S	<ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギー価格高騰や人件費のベースアップ等の支出増に対応するため、職員一丸となって徹底したコスト削減を実現した。 ○ 清掃の徹底や定期的な点検を実施することで、施設の長寿命化を図り、施設の維持管理に係るコストを削減すると同時に、機能を損なわない範囲で自社で修繕を実施するなど、修繕費を最低限に抑える努力を行っている。 ○ 施設の老朽が進んでおり、施設維持が年々難しくなっている中、適正な維持管理ができています。 ○ さわらびの湯を名栗エリアの核として、周辺施設と連携して良好な運営が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画にあるように「顧客感動につながる「清掃」や利用者目線に即した「おもてなしサービス」、幅広い層に向けた情報発信等により、利用者数については、約7万人と安定した結果を出している。 ○ 物価高騰や人件費のベースアップ等により、支出金額は今後も上昇することが想定されるため、更なる利用者確保の方策や収入増を見据えた黒字経営への事業展開を期待する。
2 農林産物加工直売所	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続的な情報発信により、多数のメディアから取り上げられ、名栗地域を含む飯能市全体の知名度向上に寄与した。 ○ 5年ぶりに開催された「名栗ふるさとまつり」の会場になるなど、地域活性化の拠点として機能している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き安心安全な管理運営に努めること。 ○ アウトドアブームが落ち着きを見せる中、常に注目を集める施設となるよう新しいことにチャレンジしていくこと。 ○ 地域の賑わい、交流の拠点として、地域住民と連携した魅力ある事業を展開すること。
3 ふれあい農園施設	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の運営については、エコツアーを中心とした様々な事業の企画、運営により利用者の増加に努めた。 ○ 今後も利用者ニーズの把握に努め、利用者の増加とサービスの向上を推進していくことを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経年劣化がみられる施設のため適切な維持管理を実施すること。 ○ 利用者のニーズに対応したきめ細かいサービスを行い、地域の交流拠点として、地域の活性化に繋がる取組をさらに推進すること。 ○ 利用者の増加に寄与する新規事業について検討すること。
4 林業センター	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理が適切に行われ、新規の利用者に対してはパンフレットを配布し、施設の利用方法を案内するなど、利用者への対応も丁寧であった。 ○ 施設修繕が必要な箇所については、迅速に対処できた。 ○ 木育事業において、森と音楽の広場の講座を追加し、木で作られた楽器の仕組みを学び、実際に楽器に触れることで、自然と芸術の繋がりの場を提供し、参加者の増加やリピーター化につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木育事業に新たな講座を追加したほか、林業センター内に設けたイベントスペースは、西川材の床や椅子を使い、木に触れる機会を増やす工夫がされており、乳幼児用に授乳室やトイレ用具を設置し、安心して参加できるよう配慮されていた。参加者はリピーターも多く好評であったことから、次年度以降も適宜改善を行い、施設を有効に活用しながら、工夫を凝らした運営を行うこと。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的業務	利用者サービス	収支状況	総合評価		
5	総合福祉センター （施設管理）	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者が安全に安心して利用できるよう、積極的な取組がなされている。 ○ 保守点検や修繕等により、引き続き施設の適切な維持管理に取り組むとともに、利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を十分に発揮することを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の竣工後35年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。 ○ 社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の節減に向けた創意工夫に努めること。 ○ 部屋の利用許可について、種類や曜日により利用に偏りがあり、また、社会福祉協議会の組織体制強化等に伴う事務室の拡大等がみられる中、現状に見合った部屋の利用の最適化について、検討していくこと。
6	総合福祉センター （身体障害者福祉センター）	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、日常生活が戻った中、着実に事業を実施し、利用者の利用環境を整える努力により利用者が増加した点を評価する。 ○ 多くの利用者がある施設であるからこそ、誰もが快適に過ごす事ができるよう、随所に花を飾るなど施設美化への取組は重要であり評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな指定管理期間1年目の令和6年度は、新たな取組をスタートするいい機会である。指定管理期間が5年間であることを活かし、長期的な視点にたった取組についても計画すること。 ○ 障害がある方との交流機会の拡大、手話の普及、手話通訳者の養成が課題である。これまでの経験、知見を活かし、積極的に取り組むこと。 ○ 地域活動支援事業の利用者の高齢化が進み登録があるものの事業に参加できていない利用者も出ている。今後も利用者の現状に適した事業内容を検討していくこと。
7	総合福祉センター （老人福祉センター）	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について適切に行った。 ○ 浴室廃止の決定を受け、施設運営や施設管理の見直しを行い、市民に対して浴室廃止に至った理由を丁寧に説明した。 ○ 事業の再開により、高齢者の健康で明るい生活の向上への寄与に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の実施を概ね計画どおりに実施していただいております。感染拡大以前の水準で施設運営や事業実施を行うことができています。今後も施設の設置目的を達成できるように努めること。 ○ 高齢化率が上昇する中で、事業の開催による高齢者への教養の向上や生きがいづくりは今後も必要性が高い。引き続き高齢者の健康増進のため、適切な施設運営に努めること。
8	総合福祉センター （児童センター）	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、利用者目線に立った対応をしたことが、利用者の増加につながった。 ○ 常に利用者の安心安全を第一に考え誠実に対応し、良好な施設運営が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの実施等により利用者ニーズの把握に努め、更なる児童の健全育成に向けて事業内容を検討すること。 ○ 常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生の安心できる身近な居場所づくりに引き続き取り組むこと。 ○ 子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても、児童センター事業の周知に取り組むこと。 ○ 地域と連携した事業を展開し、世代を超えた交流拠点としての役割に取り組むこと。 ○ 美杉台児童館と更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的業務	利用者サービス	収支状況	総合評価		
9	高齢者福祉施設敬愛園	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染対策を徹底した上で事業等の再開を行うなど、高齢者福祉の増進につながる施設運営に努めた。 ○ 緊急保護や措置入所など、支援を必要とする高齢者に対し、適切な対応を行った。 ○ 集団生活の場であることから、ルールを守った利用を心掛けていただくよう利用者に働きかけるなど、養護・デイサービスの適切な運営を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者福祉施設の特性上、24時間体制で利用者への対応に努めること。 ○ 施設設備の経年劣化に対する対応が課題となっているため、日常的なメンテナンスを継続し、修繕が必要な箇所を明確にし、優先度の高いものから対応を行うこと。 ○ 市内の高齢化率の上昇により、今後様々な事情を抱えた高齢者の相談が増加すると考えられる。高齢者の養護のため、今後も適切な職員配置や、急な案件に対する対応に努めること。 ○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、以前の生活に戻りつつあるが、今後も基本的な感染対策を講じながら高齢者福祉の増進に努めること。
10	美杉台児童館	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、利用者目線に立った対応をしたことが、利用者の増加につながった。 ○ 常に利用者の安心安全を第一に考え誠実に対応し、良好な施設運営が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの実施等により利用者のニーズや実態の把握に努め、更なる児童の健全育成と子育て家庭への支援に向けた事業拡充を継続することで、サービスと利用者満足度の向上に努めること。 ○ 常に利用者目線に立ち、放課後児童や中高生、子育て中の保護者の安心できる身近な居場所づくりに引き続き取り組むこと。 ○ 子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても、児童館事業の周知に取り組むこと。 ○ ボランティアや地域と連携した事業を展開し、児童の地域で継続した活動につながるよう取り組むこと。 ○ 児童センターと更なる連携を図り、同じ指定管理者である利点を発揮した事業展開に取り組むこと。
11	東吾野医療介護センター	A	A	S	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設運営については、収入増加に繋がるような取組を継続して行い、指定管理者制度の導入以降で、利用料金収入の合計額が過去最高額となったことは大きな成果である。 ○ 一部の業務における利用者サービスに課題があったが、体制の見直しを図り、全体的には良好な運営がされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通所リハの利用者が増加したように、外来、健診についても工夫次第で利用者増加に向けて改善の余地があると考え。積極的なPRに努め、利用者増加に繋がる取組を継続していくこと。 ○ 入院及び老健入所については、高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めること。 ○ 人材確保が困難な中で、職員一人一人の負担が増えている状況が見受けられたが、利用者へのサービス提供は、施設運営において基本となる部分であることから、業務分担や体制の見直しなどを行い、「質の高いサービス」が常に提供できるよう努めること。
12	都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初より計画的に業務を遂行できており、植栽管理等の公園美化に対する意識については高く評価できる。 ○ 突発的な案件への早急な対応や、危機管理体制の向上について評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源のさらなる確保を実施していくこと。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的業務	利用者サービス	収支状況	総合評価		
13	都市公園運動施設	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理については、年間を通して仕様書に沿って対応した。 ○ 利用者の安心・安全を第一に考え、引き続き修繕等迅速な対応を行うとともに、関連する団体と協働した事業の展開を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市への情報提供を密に行うことで、施設や利用者の状況の情報共有に努めること。 ○ 施設の安全性を確保するため、保守点検や修繕等を計画的に実施するとともに、年間の修繕計画を策定し、実施すること。 ○ 利用者のニーズを的確に捉え、利用者の立場に立ったサービスの向上に努めること。